

2025年6月16日

報道関係者各位

株式会社オプティム
(東証プライム市場、コード:3694)

スマートフォン測量アプリ「OPTiM Geo Scan」、 ミリ単位の精度での測量を実現する「Geo Scan Supreme」を提供開始 ～国土交通省「3次元計測技術を用いた出来形管理要領」の舗装工に準拠～

株式会社オプティム(以下 オプティム)は、スマホ測量アプリ「OPTiM Geo Scan」(以下 Geo Scan)にて、ミリ単位の精度(以下 ミリ精度)で点群データを取得できる「Geo Scan Supreme(ジオ スキャン シュプリーム)」を2025年7月より提供開始いたします。

「Geo Scan Supreme」は、国土交通省の定める「3次元計測技術を用いた出来形管理要領」*1において、舗装工に準拠*2しております。これにより、スマホ測量アプリとしては世界で初めて*3、ミリ精度での出来形管理に必要な点群データを誰でも簡単に取得できるようになります。

「Geo Scan」ついにミリ精度の壁も突破!



■背景

国土交通省が推進する i-Construction では、土工事などの工種に続き、舗装工事や構造物工事などの高い測量精度を要する工種においても、ICT 活用が拡大しています。一方で、舗装工事や構造物工事などのミリ精度の出来形管理が必要な現場では、地上型レーザー scanner 等の高額な機器が用いられてきましたが、以下の課題があり、十分な普及が進んでいない状況がありました。

- コスト面の課題: 高額な初期投資(数千万円規模)が必要
- 運用面の課題: 専門的な知識・技術が必要で、限られた技術者しか使用できない

そのため、工種や現場規模を限定せず更に幅広い工種・現場において、高い測量精度をもちながら、コスト面や技術面で導入・運用が容易である新たなソリューションが求められていました。

■「Geo Scan Supreme」の概要

「Geo Scan Supreme」では、ミリ精度での出来形管理に必要な点群データをスマホで誰でも簡単に取得できます。建設業界での ICT 普及の阻害要因となっていた、コスト面と運用面の課題を解消するソリューションです。

① コスト面:導入時の費用負担を大幅に軽減

- 従来必要とされていた高額な地上型レーザースキャナーが不要。
- 取得した点群データは数 MB 程度で、データ処理のための高額な専用ソフトウェアや高スペック PC が不要。

② 運用面:専門技術者がいなくても、高精度な測量・データ処理作業をスマホ上でできる

- スマホアプリで直感的かつ簡単な操作を実現。従来では高度な特殊技能をもった技術者が行う業務を誰でも専門知識なく実施可能。
- スマホアプリ上で点群に含まれる「Geo Scan Supreme 専用ターゲット」を自動認識し、位置合わせまで自動処理され、高精度な点群生成を実現。
- スマホで完結するため、現場で計測結果をリアルタイムに確認できる。

ターゲットを設置し、精密な点群データを取得！

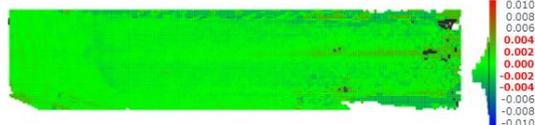


アップロード

Geo Scan Supreme



ミリ精度の位置合わせを
スマホで実現



■「Geo Scan Supreme」の測量精度と適用領域

「Geo Scan Supreme」は以下の通り国土交通省が定める「3次元計測技術を用いた出来形管理要領」の舗装工における精度確認試験に合格しています。これにより、ミリ精度が要求される舗装工事における出来形管理等で活用が可能です。

◆精度確認試験結果報告書

事前精度確認試験結果報告書			
		工事名:	
		登録番号:	
		作成者:	
(1)試験概要			
測定日	令和7年6月5日		
測定条件	天候: 晴れ	気温: 28℃	
測定場所			
精度確認の対象機器	メーカー: 株式会社オプティム 測定装置名称: Geo Scan Supreme 測定装置の製造番号: BC18030025		
検証機器 (高精度を計測する測定機器)	TS 機種名: GT-1003 (級別: 2級A)		
精度確認方法	・ TS と Geo Scan Advance との平面度標の較差 ・ TS と Geo Scan Advance との標高較差		
検証機器と検証点との距離	34m, 97m		
(2)精度確認試験結果			
対象工種: 表層	計測距離: 30m		
■平面方向			
		x 座標	y 座標
① 高精度の計測結果 (x, y, z)	1 点目	26879.704	-66225.999
	2 点目	26893.597	-66225.925
② Geo Scan Supreme による計測結果 (x, y, z)	1 点目	26879.702	-66225.992
	2 点目	26893.595	-66225.926
③ 差の確認 (測定精度) (x, y) - (x, y)	1 点目	-0.002	0.007
	2 点目	-0.002	-0.001
x 成分 (最大) = 0.002m (2mm) : 合格 (基準値 = 10mm 以内)			
y 成分 (最大) = 0.007m (7mm) : 合格 (基準値 = 10mm 以内)			
■鉛直方向			
	計測方法	高さ計測結果	
① TS による検査面の確認	検査面の四隅	3.343m	
② Geo Scan Supreme による確認	—	3.339m	
差 (①-②)		4mm	
基準値		± 4mm 以内	
合否		合格	

■「Geo Scan Supreme」利用条件

以下の3つを全て満たしていることでご利用いただけます。

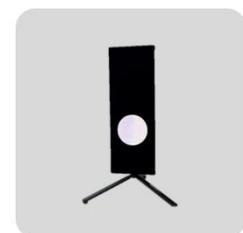
- (1) 「Geo Scan」年間ライセンスを契約中であること
- (2) 「Geo Scan Advance 専用ハードウェア」を購入していること
- (3) 「Geo Scan Supreme 専用ターゲット」を購入していること



(1) Geo Scanライセンス



(2) Geo Scan Advance
専用ハードウェア



(3) Geo Scan Supreme
専用ターゲット

■「Geo Scan Supreme」の詳細情報のご案内

① 展示会でのご紹介

CSPI-EXPO 2025(第7回国際建設・測量展)にて初公開いたします。

会期	2025年6月18日(水)～21日(土)
会場	幕張メッセ(千葉県千葉市美浜区)
出展ブース	展示ホール4 12-02
展示会公式サイト	https://cspi-expo.com/

※6月18日(水)～20日(金)各日11時から行われるセミナー(Ⅲ会場)にて「Geo Scan Supreme」についてご紹介します。

② 個別でのご案内

下記フォームより、お問い合わせください。

<https://www.optim.co.jp/contact/optim-geo-scan?purpose=demo>

※「Geo Scan を用いて行いたい事柄／利用想定現場の詳細(自由記入欄)」に、「Geo Scan Supreme 詳細希望」とご記入ください。

■「Geo Scan」の進化

スマホ測量アプリ「Geo Scan」は2021年5月に発売を開始し、以来、高い測量精度をもち、国土交通省の要領に準拠した土工事等の出来形管理に使える本格的な測量アプリとして、建設業界のICT普及に尽力してまいりました。

また2023年5月には、スマホのLiDAR機能では計測困難な高所や広範囲の計測を可能にするため、点群取得可能距離を35～50mまで拡張した「Geo Scan Advance」の提供を開始しました。これにより、広範囲な地形の測量や、大規模土工事などの出来形検査など、幅広い現場でICT普及を加速させてきました。しかしながら、多くのユーザーの方々から、構造物や舗装などのミリ精度の検査にも使えるものを生み出してほしいというご要望を多数受けておりました。

そうした建設業界のニーズを受けて、この度開発した「Geo Scan Supreme」は、従来製品では対応できなかったミリ精度を実現し、道路舗装工事等のより高精度な測量が必要な領域への展開を可能にします。

■「Geo Scan」の詳細を知りたい方へ

以下の情報提供、イベントを開催しております。

デモ、取材、見積もりなどのお問い合わせ

<https://www.optim.co.jp/contact/optim-geo-scan?purpose=demo>

「Geo Scan」体験会

<https://www.optim.co.jp/construction/optim-geo-scan/lp/trial/>

「Geo Scan」Webセミナー

<https://www.optim.co.jp/construction/optim-geo-scan/seminar/>

「Geo Scan」詳細資料、お役立ち資料のダウンロード

<https://www.optim.co.jp/construction/optim-geo-scan/download/>

「Geo Scan」についての詳細

<https://www.optim.co.jp/construction/optim-geo-scan/>

- ※1 ICT 活用工事における 3 次元計測技術を用いた出来形計測および規格値に基づく出来形管理基準をまとめたもの。
(国土交通省の「3次元計測技術を用いた出来形管理要領(案)」(令和7年3月版):
<https://www.mlit.go.jp/tec/constplan/content/001880735.pdf>)
- ※2 2025年6月11日時点、オプティム調べ。国土交通省の「3次元計測技術を用いた出来形管理要領(案)」(令和7年3月版)において、舗装工における地上型レーザースキャナー(TLS)による面管理での出来形管理要領に則って検証し、同要領に準拠していることを確認しました。(計測性能及び精度管理については、別紙2 計測性能及び精度管理の第2編 舗装工編、第1章 面管理の場合、1.1 地上型レーザースキャナー(TLS)に準拠していることを確認)
- ※3 2025年6月11日時点、オプティム調べ。国土交通省の「3次元計測技術を用いた出来形管理要領(案)」(令和7年3月版)において、ミリ精度の基準が要求されるものに対応できるスマホ測量アプリとして。

【株式会社オプティムについて】

商号: 株式会社オプティム
上場市場: 東京証券取引所プライム市場
証券コード: 3694
URL: <https://www.optim.co.jp/>
OPTiM TOKYO: 東京都港区海岸1丁目2番20号 汐留ビルディング 18階
(東京本社)
OPTiM SAGA: 佐賀県佐賀市本庄町1 オプティム・ヘッドクォータービル
(佐賀本店)
OPTiM KOBE: 兵庫県神戸市中央区小野柄通7丁目1番1号 日本生命三宮駅前ビル 11階
代表者: 菅谷 俊二
菅谷 俊二
主要株主: 東日本電信電話株式会社
富士フィルムホールディングス株式会社
設立: 2000年6月
資本金: 445百万円
主要取引先: NTTコミュニケーションズ株式会社、株式会社NTTドコモ、株式会社大塚商会、
キヤノンマーケティングジャパン株式会社、KDDI株式会社、株式会社小松製作
所、ソフトバンク株式会社、西日本電信電話株式会社、パナソニック ソリューショ
ンテクノロジー株式会社、東日本電信電話株式会社、富士フィルムビジネスイノ
ベーション株式会社、リコージャパン株式会社など(五十音順)
事業内容: ライセンス販売・保守サポートサービス(オプティマル)事業
(IoTプラットフォームサービス、リモートマネジメントサービス、サポートサービ
ス、その他サービス)

【Copyright・商標】

- ※ 記載の会社名および製品名は、各社の登録商標および商標です。
- ※ 本プレスリリースに記載された情報は、発表日現在のものです。商品・サービスの料金、サービス内容・仕様、お問い合わせ先などの情報は予告なしに変更されることがありますので、あらかじめご了承ください。

【本件に関する報道機関からのお問い合わせ先】

株式会社オプティム 広報担当

TEL: 050-1746-3938 FAX: 03-6435-8560

E-Mail : press@optim.co.jp

OPTiM Geo Scan サービスページ: <https://www.optim.co.jp/construction/optim-geo-scan/>